

躍動 Aggressive !

進路通信第1号

新学期が始まって2週間ほどがたちました。武義高生の皆さん、調子はいかがですか。

新入生の皆さん、武義高での生活はいかがですか。緊張はとれましたか？授業も一通り終わり、部活動の登録も済んで、本格的に高校生活が始まりました。「新入生」という表現もここでおしまいにしてしましましょう。廊下などで先生や先輩に「こんにちは」と言えるようになれば、一人前の高校生です。「こんにちは」の挨拶は大人への第一歩だと思います。

2年生の皆さん、自覚はできていますか。後輩が入ってきたのです。何事においてももう「甘え」は恥ずかしいですね。教えてもらったり見習ったりする立場から、教えたり見習われたりする立場に変わったのです。昨年のこの時期は休校中でしたから、本当は皆さんも初めてのことが多いのですが、「新入生」として扱ってはもらえません。「歳月は人を待たず」。ハンデを乗り越えて学校の中核を担う2年生としてやっていきましょう。

3年生の皆さん、覚えていますか。1年生の時は平成から令和に切り替わることで、10連休がありましたね。そして去年はコロナ禍での休校。今年も「すべて普通」とはいかなさそうです。修学旅行には行けなかったかわりに、メモリアルなことには事欠かない特別な学年になりました。そんなみなさんにとって最後の1年が始まったのです。ワクチンが行き渡り、いろいろなことが「普通に」できるようになるといいのですが、しばらくかかりそうです。オリンピックも心配ですね。そんな中ですが、制度や状況が変わっても、求められる力は変わりません。普遍的な力を身につけるために精一杯の努力をしてください。最後まで応援しますよ。

《当面の進路行事》

- 4/22 (木) 2, 3年生 スタサポレクチャー
- 30 (金)、5/1 (土) 3年生 全統共通テスト模試
- 5/13 (木) 1年生 スタサポレクチャー 3年生 進路講演会
- 15 (土) 3年生 全統記述模試
- 28 (金)、29 (土) 3年生 ベネッセ共通テスト模試

《模試について》

1, 2年生が受験する「ベネッセ学力総合テスト」(進研模試)は、自分の学力の到達度を全国規模で確かめる試験です。学校の授業進度もこの模試をある程度意識しています。普通科の生徒は全員受験します。例年7、11、1月に実施されます。

3年生になるとほぼ毎月模試があります。

早速今月末には河合塾による「第1回全統共通テスト模試」があり、続いて5月に「第1回全統記述模試」があります。これ以後浪人生を含む全国の受験生の多くが受験します。出題も共通テストや大学入試をにらんで完成度が高く、難易度も高いものとなります。今回は部活動の大会と重なるため、自宅解答の人も多くなります。当然、合格可能性の判定は厳しく出ます。本校をはじめとする現役生が痛い目に遭う模試です。ですがこの試練はあたりまえ。冷静に現在の位置を知り、受験本番に向かって上昇していけばよいのです。一喜一憂しないで、まずは力試しです。

5月末の「ベネッセ共通テスト模試」と7月の「ベネッセ総合記述模試」は学力をつけるための

模試です。幅広くオーソドックスな出題で、「記述模試」では文系に対応した数学の問題を選択できます。理系の人でも国語を解いてください。1, 2年生の「学力総合テスト」の延長で、判定よりも勉強のための模試と考えてください。

夏休み前のこれらの模試を普通科は全員受験します。なんとなく受験するのではなく、目的を理解してトライしてください。科目をしぼるのは早いですよ。

これからの模試には

HBの鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、時計

が必要です。計算や下書きにはシャーペンが使えますが、マークには使用不可です。記述模試も受験届のマークは鉛筆です。これは共通テストや大学入試も同じです。持っていない人は必ず準備をしておきなさい。1, 2年生の人にもいずれ必要です。覚えておきましょう。

マーク方式の模試では自己採点も必須です。自己採点をなめてはいけません。10点ちがうと1ランクちがってきます。結果が返ってきたとき、自己採点とぴったりだといいいことがありますよ。

《雑感》

運動系の部活動の3年生にとってインターハイ予選が「最後の大会」になる人も多いでしょう。そう思うとプレッシャーもかかりますね。「後輩にかっこいい姿を見せたい」ということもプレッシャーになってしまいます。緊張しますね。

「最後のプレー」は気持ちよく全力で。小細工して失敗すると後悔が残ります。力いっぱい振り抜いて、終わらしましょう。だめでもともと。全国で1チーム以外はどこかで負けるのです。自分らしいプレーができればそれでいいのだ、と思いませんか。

1, 2年生の人で試合に出ない人は何をしに行きますか。ボール拾いですか？審判ですか？会場設営ですか？たしかにそれらはとても重要な役割です。でもメインは？「先輩の勝利を見学に行く」のでしょうか？いえいえ、「先輩が頑張る姿を応援に行く」のではないですか。求めているのは「一緒に活動した先輩の頑張る姿」でしょう。だから、勝ち負けはあくまで結果。先輩も後輩もしギューもリザーバーも、大事なことは頑張ること。できることを全力ですることです。たとえ相手が強すぎて、頑張れないほど大差で負けても、これまで頑張ってきたのなら、それは恥ずかしいことではないと思います。

「バストを尽くして失敗したら、バストを尽くしたってことさ。」（スティーブ・ジョブズ）

《おまけ》

1年生の皆さん、オリエンテーションお疲れ様でした。

日本全国で4年制大学の数はいくつでしたか？ 約（ ）

短期大学は 約（ ）

専門学校は 約（ ） でしたね。

ところで外国はどうでしょう。

例えばアメリカには約1600の公立大学と約3100の私立大学があります。

このうち約1/3が2年制で、約2/3が4年制です。

4年制大学に限ると、公立大学が約1/4、私立大学が約3/4です。ところが学生数は約70%が公立大学の学生で、約30%が私立大学の学生です。日本と逆ですね。